



病院に来られた患者さまやご家族の方々、そして三重病院で働く職員など、一人でも多くの方に四季を感じて笑顔になって頂きたいと思い「花の会」は活動をしています。病院の緑化を目指し、たとえば、花壇の手入れをしたり、中央廊下の窓辺に四季おりおりの植物や小物を置いたりしています。

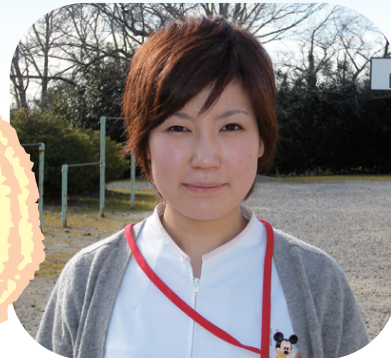
花の会は、三重病院のさまざまな職種のスタッフにより構成されています。これからも病院に、どんどん“緑の癒し空間”を作っていきたいと思っていますので、楽しみにしてくださいね。(保育士 亀野 素子)



リース宿舎(看護師宿舎)の名称が決まりました!

カルム翠(みどり)

命名者の山崎看護師から、このステキな名の由来を聞いてみましょう



彼女が命名者です。今年度就職した新人ナースです!

「カルム」とは「綺麗な空気」「落ち着く静けさ」という意味のフランス語です。私の地元は三重から遠く離れた九州です。こちらに引っ越してくる際、三重はどのような所なのだろうか、ちゃんとやっつけられるだろうか、とても不安でした。でも実際に三重の地に降り立った時、一番はじめに感じたことは、「空気」がとても綺麗だということでした。

また三重病院は、緑に囲まれており、私自身初めての地に来たにもかかわらず、とても心が落ち着きました。今回、新しい看護宿舎の名称を募集していると聞き、私が感じた印象を名前に残したいと思い応募させていただきました。(3病棟 山崎 あや)



今月のイチオシ

医療福祉相談室には小さな図書コーナーがあります。

子どもの病気(難病・発達障害・こころの病気)に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。ソーシャルワーカーが面接中の時はお部屋に入れません、それ以外はいつでもかまいませんので外来・入院を問わずふらりのぞいてください。

医療福祉相談室だより

「なっちゃんかもよ」 《齋藤多加子/PHP研究所》



「はなくそをほじると…」 「はをみがかないと…」 「おゆびをしゃぶっていると…」 どうなるかみなさんご存知ですか? 幼児向けの絵本ですが、挿し絵が粘土細工なので、日頃、子どもたちに怒っていることが、なんとまあびっくりの展開に! 何度も読んでぼろぼろですが、ぜひ、子供さんと一緒に読んで欲しい本です。もちろん夜更けに大人ひとり、ちびちびお酒を飲みながらでも(?) 楽しめること間違いなし! ああ~本当にどうなっちゃんでしょう!

(ソーシャルワーカー 高村 純子)